

## Ⅵ 公害に関する苦情処理状況

市民からの公害苦情については、大部分が大気汚染、水質汚濁、騒音等の「典型7公害」に関するものである。光害、熱風など日常生活において不快感を伴うものを含め、多数の苦情が市に寄せられている。

### 1 全市の公害苦情件数の推移

全市の平成26年度の公害苦情の受付件数は379件であり、平成25年度（405件）と比べて26件減少した。

種類別にみると、騒音に係る苦情（工事現場の作業音等）が160件と最も多く、次いで、大気汚染に係る苦情（野焼き、粉じん等）が85件、悪臭に係る苦情が64件と多かった。

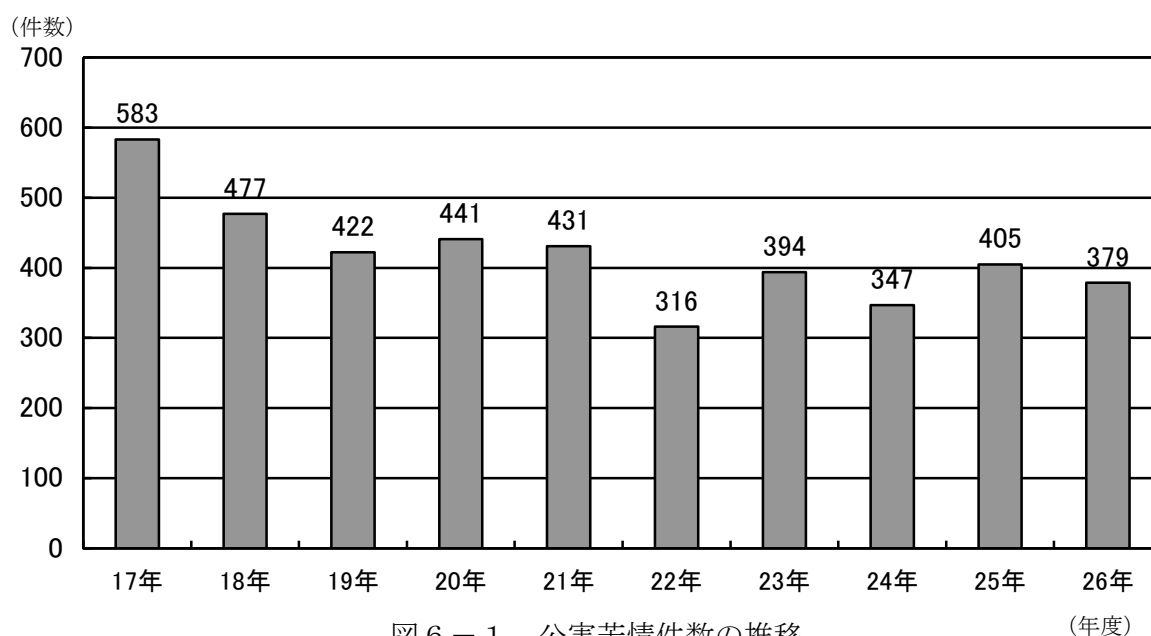


図6-1 公害苦情件数の推移

表6-1 種類別の公害苦情件数の推移

種類／年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
大気汚染	287	176	186	193	136	80	118	116	107	85
水質汚濁	15	15	8	38	123	91	75	50	90	54
土壌汚染	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0
騒音	133	132	102	99	94	59	101	105	121	160
振動	26	38	19	18	7	10	21	19	24	16
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	108	105	93	84	67	67	71	48	54	64
小計	569	466	408	433	429	308	386	338	396	379
その他	14	11	14	8	2	8	8	9	9	0
合計	583	477	422	441	431	316	394	347	405	379

## 2 区別の公害苦情件数

平成 26 年度の区別の公害苦情件数は、中央区が 65 件と最も多く、次いで、西区が 62 件、東灘区が 57 件と多かった。

最も公害苦情件数が多かった中央区において、種類別にみると、騒音に係る苦情が 35 件と最も多く、次いで、悪臭に係る苦情が 10 件と多かった。

表 6－2 平成 26 年度 区別の公害苦情件数

種類／区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
大気汚染	10	3	8	7	19	5	5	7	21	85
水質汚濁	13	5	8	1	16	0	0	2	9	54
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	23	14	35	17	10	15	15	14	17	160
振 動	1	5	4	0	0	2	1	2	1	16
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	10	4	10	10	1	6	1	8	14	64
小 計	57	31	65	35	46	28	22	33	62	379
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	57	31	65	35	46	28	22	33	62	379

## 3 月別の公害苦情件数

平成 26 年度の月別の公害苦情件数は、6 月が 55 件と最も多く、次いで、9 月が 52 件と多かった。

表 6－3 平成 26 年度 月別の公害苦情件数

種類／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	10	12	10	9	11	5	5	13	1	3	3	3	85
水質汚濁	6	5	4	2	4	8	5	1	7	6	4	2	54
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	6	13	27	22	15	26	13	11	6	7	6	8	160
振 動	5	0	3	0	0	1	2	0	1	0	2	2	16
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	2	5	11	5	7	12	7	7	1	1	5	1	64
小 計	29	35	55	38	37	52	32	32	16	17	20	16	379
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	29	35	55	38	37	52	32	32	16	17	20	16	379

#### 4 用途地域別の公害苦情件数

平成 26 年度の用途地域別の公害苦情件数は、住居系地域が 218 件で最も多く、次いで商業系地域が 76 件で多かった。住居系・商業系地域では騒音の件数が多く、市街化調整区域では大気汚染、工業系地域では悪臭の件数がそれぞれ多かった。

表 6－4 平成 26 年度 用途地域別の公害苦情件数

種類／用途地域	住居系地域	商業系			工業系				市街化調整区域	計
		近隣商業地域	商業地域	小計	準工業地域	工業地域	工業専用地域	小計		
大気汚染	48	4	4	8	3	2	1	6	23	85
水質汚濁	31	4	2	6	6	3	0	9	8	54
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒音	99	28	22	50	8	1	0	9	2	160
振動	10	1	1	2	2	2	0	4	0	16
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	30	2	8	10	8	10	2	20	4	64
小計	218	39	37	76	27	18	3	48	37	379
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	218	39	37	76	27	18	3	48	37	379

#### 5 発生源別の公害苦情件数

騒音、振動の苦情では、その半数以上が建設現場を発生源としており、一方、大気汚染、水質汚濁、悪臭の約半数では原因が不明などであった。一般家庭を発生源とする公害苦情件数は少なかった。

表 6－5 平成 26 年度 発生源別の公害苦情件数

種類／発生源	事業場	建設現場	交通機関	一般家庭	その他 (野焼き等)	計
大気汚染	6	33	0	0	46	85
水質汚濁	19	8	1	3	23	54
土壌汚染	0	0	0	0	0	0
騒音	29	94	7	0	30	160
振動	1	7	8	0	0	16
地盤沈下	0	0	0	0	0	0
悪臭	27	2	0	1	34	64
小計	82	144	16	4	133	379
その他	0	0	0	0	0	0
合計	82	144	16	4	133	379